

衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会ニュース

平成 26. 2. 25 第 186 回国会第 3 号

2 月 25 日（火）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 沖縄問題に関する件

- ・沖縄問題に関する実情調査のため、沖縄県において視察を行った委員を代表して、安住委員長から報告を聴取しました。

2 沖縄及び北方問題に関する件

- ・山本内閣大臣（沖縄及び北方対策担当）、岸田外務大臣、石原外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

関 芳 弘君（自民）

- ・今国会に提出された沖縄振興特別措置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 5 号）の概要について伺いたい。
- ・同法案により創設される経済金融活性化特別地区について、どのような業種が課税特例の対象産業として想定されているか伺いたい。
- ・情報通信産業特別地区及び国際物流拠点産業集積地域における事業認定の権限を沖縄県知事へ移譲することにより期待される効果について伺いたい。

伊 東 良 孝君（自民）

- ・北方領土隣接地域の現状に鑑み、沖縄振興一括交付金のような地域振興策や予算配分等の措置を行うべきと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・北方四島交流等事業使用船舶「えとぴりか」の発着岸壁や待合所を整備する必要性について、山本内閣大臣の見解を伺いたい。
- ・大臣所信における「戦略的な北方四島交流事業」とはどのような内容か、山本内閣大臣の所見を伺いたい。

佐 藤 英 道君（公明）

- ・沖縄の不発弾処理に取り組む姿勢について、山本内閣大臣の見解を伺いたい。
- ・返還要求運動を支える観点から、北方領土啓発サポーター事業において、元島民による講話や 3 世・4 世との交流をプログラムに取り入れるべきと考えるが、山本内閣大臣の見解を伺いたい。
- ・北方四島交流事業における専門家枠の参加者を、文化、芸術、スポーツ等の専門的な技能を持った人々に拡大することについて、山本内閣大臣の所見を伺いたい。

前 原 誠 司君（民主）

- ・現行の沖縄振興計画期間（平成 24～33 年度）において、毎年 3,000 億円台の振興予算を確保すると安倍総理が発言した事実の有無及び同発言をどのように担保するつもりであるか伺いたい。
- ・真の沖縄の自立につながるよう、沖縄振興一括交付金の使途を政府が厳しくチェックする必要があると思うが、政府の見解を伺いたい。
- ・北方領土隣接地域と北方四島が、日本とロシア双方の法的立場を損ねないことを前提に、経済交流を開始することについて政府の見解を伺いたい。

阪 口 直 人君（維新）

- ・操業ルール等の条件が決定されていない段階で日台漁業取決めの締結を急いだ理由について伺いたい。
- ・台湾漁船の大規模な操業により生活が脅かされているとの漁業者の不安について、今後どのように対応していくのか、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・日台漁業取決めに關する操業条件について、漁業者の声を踏まえて、ルールを見直し、総量規制の導入などを行う考えはあるか、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

西 岡 新君（維新）

- ・ウクライナ問題がロシアのプーチン大統領の支持率に与える影響について、どのように分析しているか。
- ・4 月の岸田外務大臣とロシアのラブロフ外相との会談における対応方針について、岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・領土問題に關して自国の立場を主張するため、諸外国に対する広報を戦略的に進めるべきと考えるが、政府の見

解を伺いたい。

杉本 かずみ君 (みんな)

- ・国後・択捉両島におけるロシアによるインフラ整備及び開発状況について、山本国務大臣の所見を伺いたい。
- ・ビザなし交流に日本の技術者を参加させ、現地で日本の技術を生かすべきと考えるが、岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・与那国島への自衛隊の常駐の可能性及び振興策について政府の見解を伺いたい。

井坂 信彦君 (結い)

- ・沖縄の政界における対立の構図が、保守対革新からオール沖縄対政府に変わりつつあると思われるが、現状認識と変化の原因について、政府の所見を伺いたい。
- ・沖縄の貧困問題の負の連鎖をどのように断ち切っていくのか、山本国務大臣の見解を伺いたい。
- ・長期的な農業の振興のためには、さとうきびへの依存度を下げ、農産物の多様化を図るための予算配分を検討すべきと考えるが、山本国務大臣の見解を伺いたい。